

## 公共交通減便 ▶ 運賃値上げ ▶

免許証を返納した市民に  
生活の足の確保を

## ■ シルバーパスの発行を!

車の免許返納後の移動手段としては、約4割の方がバス、電車を利用しています。公共交通機関の運賃を割引する制度をつくり、気軽に高齢者が外出できる支援をするべきと質問しました。市は、高齢者の外出機会の創出や社会参加を支援する施策の一つであることの認識は示しましたが、多額の財源を要することから、現時点で、実施する考えがないと答弁。引き続き、商店街の活性化の効果とも合わせて求めていきます。

75歳以上の高齢者の4割の約3万1,000人に対し  
交通料金として月1,000円助成した場合の財源=約3億7,000万円

免許証を返納して  
公共交通が  
不十分だと困るよ...



2022年  
免許証返納者数  
合計 2085人



内 訳	
65歳未満	91人
65歳～69歳	202人
70歳～74歳	518人
75歳～79歳	478人
80歳～84歳	463人
85歳以上	333人

## ■ 「チョイソコ」へ市の補助を

地区の住民らでつくるNPO法人が主体となって、タクシー会社が運行を担っている予約制乗合交通「チョイソコ」。バス停などが近くにない高齢者の交通手段を確保してサポートし、健康増進につなげるのが目的です。行政とタイアップして補助をしていく必要があるのではと質問。現時点では、補助金を出す予定はないが、今後の利用状況を見ていきたいと答弁。引き続き、補助を求めていきます。

## ストップ!マイナ保険証の押し付け

## ■ 「無保険」になれば命に関わる

保険証のマイナンバーカードへの「一本化」は、全世代にとっての重大点ですが、とりわけ、高齢者にとっては、文字通り死活的な大問題になっています。病気にかかりやすく治療に時間がかかる高齢者にとって、保険証は命綱です。現行の保険証が廃止され、マイナンバーカードを持ってない・持たない人が、資格確認書の申請・取得ができず、「無保険」になれば、命にかかわる事態になります。

トラブルが多い  
マイナ保険証は  
こわいわ...

■ マイナンバーカードを  
取得しない人への対応を

本市として、被保険者・保険者・保険医療機関等の懸念事項を十分把握した上で、マイナンバーカードを取得しない人への対応について質問しました。市は、各保険者が交付する資格確認書で保険診療を受けられることになっており、現在、本人からの申請なしで交付することも国が検討しているので、今後、広く周知する予定だと答弁しました。

## お知らせ


**物価対策 均等割のみ世帯に拡充  
住民税非課税世帯には7万円給付**

松山市では、物価高騰対策として、低所得世帯への給付を拡充します。住民税の均等割のみ課税世帯も対象とし、1世帯当たり10万円を給付します。2月中に書類発送、3月中旬に給付を始める予定です。

住民税非課税世帯への給付は、昨年分との差額7万円の給付がすでに始まっています。また、非課税世帯、均等割のみ世帯で18歳までの子どもがいる世帯には、子ども一人当たり5万円が加算されます。


**第2弾 プレミアム付  
商品券事業 3月予定**

物価高騰対策の「プレミアム付き商品券」(第2弾)が発行されます。今回も1セット5000円分の商品券を4000円で販売。3月に全世帯に「購入引換券」が郵送される予定です。キャッシュレスポイント還元も実施されます。